※令和３年度以前入学生用

学校番号	3008

令和５年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂　生物基礎」　（第一学習社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物学的な事物・現象についての実験・観察などを行い，自然に対する関心や探究心を高める。生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や生物に共通する自然法則，系統分類，進化，環境と生物の関係に対する理解を深めさせ，科学的な自然観を育成する。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究することができる。また，生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方ができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生物の観察や実習，知識の習得を通じて，生物・生命現象に対する興味・関心を持ち，科学的な観点から，学ぼうとしている。	生物の観察や実習，知識の習得を通じて，生物・生命現象を科学的に考察し，考えを適切に表現している。	生物の観察や実習，知識の習得を通じて，生物の観察，スケッチの方法，顕微鏡の使い方，プレパラートの作成方法，細胞の観察方法などを身につけている。	生命現象について，基本的な概念や原理，法則を理解し，知識を身につけている。
評価方法	・学習状況の観察 ・ノートやプリントの内容	・学習状況の観察 ・ノートやプリントの内容 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートやプリントの内容 ・観察、実験の記録 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートやプリントの内容 ・定期考査の結果

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期
2学期</td><td rowspan="3">生物の体内環境</td><td>体液とその働き</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a:恒常性やその仕組みに関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとしている。

b:恒常性やその仕組みに対して問題を見出し，実験・観察・調査を行うとともに，ものごとを実証的･論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。

c:恒常性やその仕組みに関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。

d:恒常性やその仕組みに関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，知識を獲得する方法についても理解し，適切に利用することができる。</td><td rowspan="3">出席状況，
課題レポート，
ノート点検，
小テスト，
定期考査等
によって行う。</td></tr>
<tr><td>体内環境の維持のしくみ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>生体防御</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">生物の多様性と分布</td><td>植生と遷移</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a:バイオームや遷移に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとしている。

b:バイオームや遷移に対して問題を見出し，実験・観察・調査を行うとともに，ものごとを実証的･論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。

c:バイオームや遷移に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。

d:バイオームや遷移に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，知識を獲得する方法についても理解し，適切に利用することができる。</td><td rowspan="2">出席状況，
課題レポート，
ノート点検，
小テスト，
定期考査等
によって行う。</td></tr>
<tr><td>バイオームとその分布</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

※令和３年度以前入学生用

３学期	生態系とその保全	生態系	○	○	○		a:生態系やその保全に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとしている。 b:生態系やその保全に対して問題を見出し，実験・観察・調査を行うとともに，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c:生態系やその保全に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d:生態系やその保全に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，知識を獲得する方法についても理解し，適切に利用することができる。	出席状況， 課題レポート， ノート点検， 小テスト， 定期考査等 によって行う。
		生態系のバランスと保全	○	○	○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。